

# 2026年3月期 第3四半期(FY2025 3Q) 決算概要

2026年2月6日

千代田化工建設株式会社  
(証券コード：6366)



© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

CFOの出口です。  
本日は決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

2026年3月期第3四半期決算の概要について、資料に沿って  
ご説明申し上げます。

**AGENDA :**

- 1.ハイライト
- 2.損益計算書
- 3.バランスシート
- 4.受注高・受注残高

**Appendix**

## 1. ハイライト

### 第3四半期 実績

- ✓ ゴールデンパスLNGの契約調印を受けた採算見直しの結果を決算に反映し、前年同期比で大幅な増益を達成
- ✓ 通期連結業績予想の上方修正を実施（1/28開示済み）

### 受注

- ✓ 国内金属・先端素材分野EPCを受注。  
今期の受注目標に対する進捗率は98%となり、更なる受注獲得を目指す

### 新たな 資本政策\*1

- ✓ 現中計期間中での全株式償還を目指し、A種優先株式の条件変更\*2を決定  
次期中計は10年後の目指す姿の実現に向けた本格的な成長軌道へ

\*1：2026年1月28日付け「A種優先株式の償還方針に関する合意及び定款の一部変更に関するお知らせ」にて開示

\*2：第98回定時株主総会（2026年6月開催予定）での定款一部変更の承認を前提



© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

2

**まず、右下2ページ、「1. ハイライト」をご覧ください。**

1点目は、当第3四半期における「**実績**」についてです。  
米国ゴールデンパスLNGプロジェクトの契約調印を受けた採算改善の結果、前年同期比で大幅な増益を達成しました。

これを踏まえ、1月28日に開示いたしました通り、  
通期連結業績予想の上方修正を行いました。

2点目は、「**受注**」についてです。  
主に、国内において金属・先端素材分野のEPCを受注いたしました。  
これにより今期の受注目標に対し進捗率は98%となりました。  
引き続き、更なる受注獲得を目指してまいります。

3点目は、「**新たな資本政策**」に関してです。  
こちらも1月28日に開示いたしました通り、  
A種優先株式の全株式償還を目指し、  
優先株式の条件を変更することを決定いたしました。

現在の中期経営計画期間中に優先株式の全株式償還を実現することで  
財務的自立を果たし、  
次期中の中期経営計画では「10年後の目指す姿」の実現に向け、  
本格的な成長軌道へ移行してまいります。

## 2. 損益計算書

(単位：億円)						
	FY2024 3Q累計	FY2025 3Q累計	増減	FY2025 通期予想*2	進捗率	修正前 通期予想*3
完成工事高	3,461	3,882	421	4,900	79%	3,850
完成工事総利益	<sup>1</sup> 328	911	583	1,000	91%	380
完成工事総利益率	9.5%	23.5%	+14.0pt	20.4%	-	9.9%
販売費・一般管理費	△130	△134	△4	△190	71%	△185
営業利益	198	777	579	810	96%	195
営業利益率	5.7%	20.0%	+14.3pt	16.5%	-	5.1%
経常利益	251	831	581	880	94%	265
純利益*1	209	782	573	800	98%	225
為替レート (円/米ドル)	158	157		155		145
<sup>1</sup> 完成工事総利益 内訳						
エネルギー	224	809				
地球環境	105	102				

\*1 親会社株主に帰属する四半期純利益（純利益）

\*2 2026年1月28日開示の予想値

\*3 2025年11月5日開示の予想値

CHIYODA CORPORATION  
© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

3

続きまして右下3ページ、「2. 損益計算書」をご覧ください。

当第3四半期の実績を表の濃い水色の列で、前年同期対比の増減を、その右列にお示しています。1月28日に修正した通期予想は、右端から数えて3列目、通期予想に対する進捗率を その右列にお示しています。なお、修正前の通期予想につきましては、右端にグレーの列でお示しています。

当第3四半期の完成工事高は**3,882**億円、前年同期に比べ、421億円の増収となりました。これは、ゴールデンパスLNGの採算改善による効果および手持ち案件の順調な進捗によるものです。

利益に関しても同様に、  
完成工事総利益は**911**億円、  
営業利益は**777**億円、  
経常利益は**831**億円、  
純利益は**782**億円  
となり、すべての項目において  
前年同期を大幅に上回る結果となりました。

なお、欄外に注釈をいれておりますが、完成工事総利益の分野別の内訳は、エネルギー分野が**809**億円、地球環境分野が**102**億円となりました。

なお、1月28日に開催した、上方修正および資本政策に関する説明会にてお話させて

頂いた通り、増益要因のひとつである国内外案件における複数の一過性要因については、顧客との関係および個別案件の詳細であることを踏まえ、大変申し訳ございませんが、非開示とさせていただきます。

### 3. バランスシート

(単位：億円)

	2025年 3月末	2025年 12月末	増減		2025年 3月末	2025年 12月末	増減
<b>流動資産</b>	<b>4,373</b>	<b>4,587</b>	<b>214</b>	<b>流動負債</b>	<b>4,095</b>	<b>3,454</b>	<b>△642</b>
現金・預金等	1,533	1,653	120	営業負債*3	3,384	2,950	△434
営業資産*1	322	608	287	工事損失引当金	284	61	△223
JV持分資産*2	1,539	1,474	△66	<b>固定負債</b>	<b>260</b>	<b>268</b>	<b>8</b>
<b>固定資産</b>	<b>238</b>	<b>226</b>	<b>△11</b>	<b>純資産</b>	<b>255</b>	<b>1,091</b>	<b>837</b>
<b>総資産</b>	<b>4,610</b>	<b>4,813</b>	<b>203</b>	<b>負債・純資産</b>	<b>4,610</b>	<b>4,813</b>	<b>203</b>
				<b>自己資本</b>	<b>237</b>	<b>1,072</b>	<b>835</b>
				<b>自己資本比率</b>	<b>5.1%</b>	<b>22.3%</b>	<b>+17.1pt</b>

\*1 営業資産 = 受取手形・完成工事未収入金及び契約資産 + 未成工事支出金

\*2 JV持分資産 = ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

\*3 営業負債 = 支払手形・工事未払金 + 契約負債 (未成工事受入金)



© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

4

次に、バランスシートをご説明します。  
右下4ページのスライドをご覧ください。

左の表の一番下、総資産は、前年度末比**203**億円増加し、**4,813**億円となりました。  
 資産・負債の各項目の金額については、手持ち案件の進捗に伴う増減はありますが、それ以外では大きな変動はありません。

また、右の表にて示しておりますとおり、自己資本は、前年度末比**835**億円増加し、**1,072**億円、自己資本比率は**22.3%**となり、大幅な回復となりました。

## 4. 受注高・受注残高

(単位：億円)

	FY2025 3Q 受注高	2025年12月末 受注残高
エネルギー分野	1,553	4,931
地球環境分野	890	1,637
合計	2,444	6,568

### 【受注残高 主要案件】

	1,000億円 以上	500億円 以上	100億円 以上
エネルギー分野	カタール NFE LNG	中東 石油・石油化学関係	米国 ゴールデンパスLNG 国内 LNG受入設備
地球環境分野	---	固体電解質大型パイロット装置	先端素材 生産設備 硫化リチウム大型製造装置 バイオ医薬品原薬製造設備

続きまして、右下5ページ「4. 受注高・受注残高」をご覧ください。

受注高は、地球環境分野において、出光興産より全固体電池の実用化に向けた固体電解質大型パイロット装置のEPC案件を受注したことで、**2,444億円**となりました。

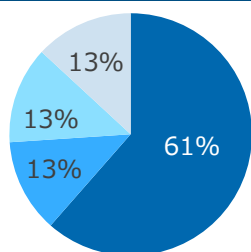
受注残高の主要案件はスライド下部の表をご覧ください。

# Appendix

右下7ページ以降はアペンディクスとして  
完成工事高・受注高・受注残高の内訳および業績推移に関する資料を  
掲載しておりますので、ご覧ください。

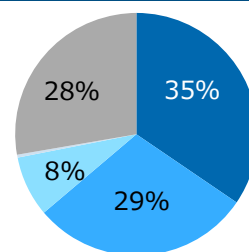


## 分野別



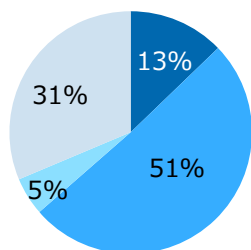
<b>エネルギー</b>	<b>2,871</b>
■ LNG・その他ガス関係	2,386
■ 石油・石油化学	485
<b>地球環境</b>	<b>1,011</b>
■ 医薬・生化学・一般化学関係	502
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	509
<b>合計</b>	<b>3,882</b>

## 地域別



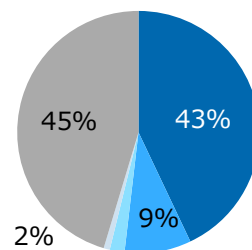
■ 中近東・アフリカ	1,339
■ 北中南米	1,137
■ アジア・オセアニア	314
■ その他海外	15
■ 日本	1,076
<b>合計</b>	<b>3,882</b>

## 分野別



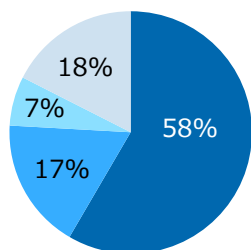
<b>エネルギー</b>	<b>1,554</b>
■ LNG・その他ガス関係	312
■ 石油・石油化学	1,242
<b>地球環境</b>	<b>890</b>
■ 医薬・生化学・一般化学関係	124
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	766
<b>合計</b>	<b>2,444</b>

## 地域別



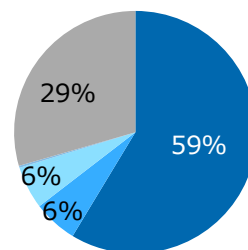
■ 中近東・アフリカ	1,049
■ 北中南米	218
■ アジア・オセアニア	48
■ その他海外	20
■ 日本	1,109
<b>合計</b>	<b>2,444</b>

## 分野別



<b>エネルギー</b>	<b>4,931</b>
■ LNG・その他ガス関係	3,796
■ 石油・石油化学	1,136
<b>地球環境</b>	<b>1,637</b>
■ 医薬・生化学・一般化学関係	498
■ 環境・新エネルギー・インフラ・その他	1,138
<b>合計</b>	<b>6,568</b>

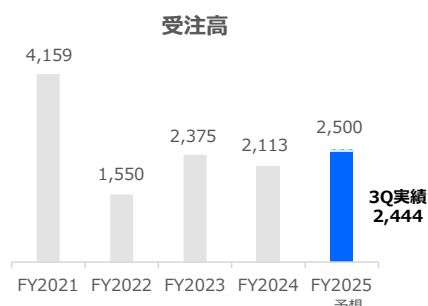
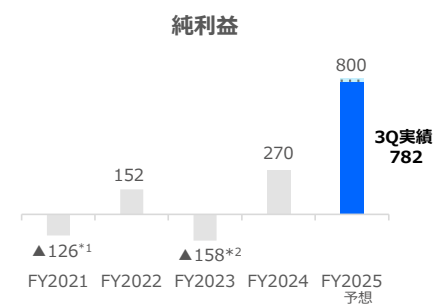
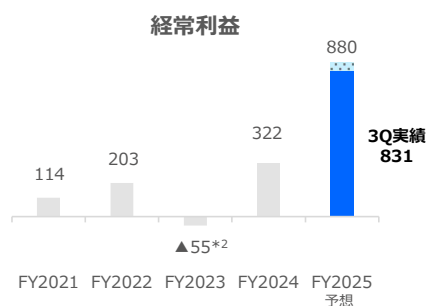
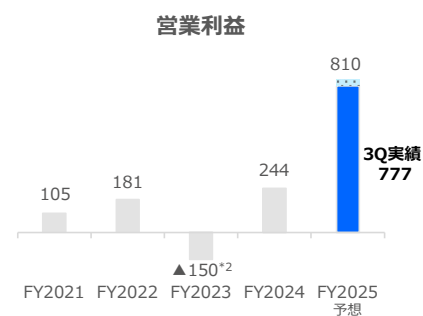
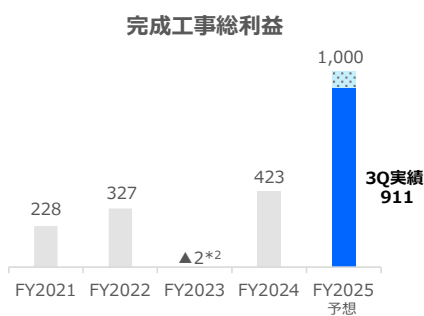
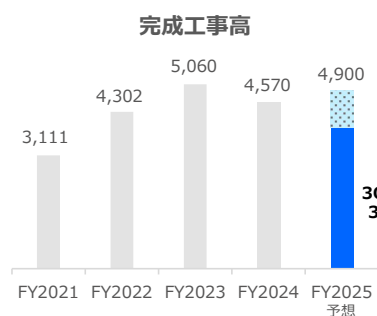
## 地域別



■ 中近東・アフリカ	3,852
■ 北中南米	387
■ アジア・オセアニア	375
■ その他海外	17
■ 日本	1,937
<b>合計</b>	<b>6,568</b>

## Appendix 業績推移

(単位：億円)



\*1 特別損失 ▲204億円含む（顧客との和解等によるプロジェクト関連損失）

\*2 ゴールデンパスLNGプロジェクトに関連する追加費用 ▲370億円含む

CHIYODA  
CORPORATION

© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

総務部 IR・広報・サステナビリティ推進セクション

E-Mail : [ir@chiyodacorp.com](mailto:ir@chiyodacorp.com)



© Chiyoda Corporation 2026, All Rights Reserved.

